全ての子どもが

につながるエコレシピを広

旨)

更なる充実を望む声がある。 う検討すべき。考えは。 リーチ型の回数を増やすよ 備も必要となるが、アウト ①訪問する助産師の体制整 利用回数を増やすなど、 産後ケア事業につい 2 機会を増やしていくべき。 包括的性教育を受けられる 必要と考えるが、現状は。 部署と連携した取り組みも ①基本的な考えは。②関係 答弁 ①学習指導要領に基 づく性教育を確実に実施で 考えは。 く募り、 めた上で導入する考えは。 ングサービスを市内飲食店 コンクールを実施すべき。 に周知・啓発し、理解を深 ①ごみ減量アイデア ②フードシェアリ コンクールにおい

答弁 ①事業を必 長すべき。考えは。 期間を1年間に延 可欠である。利用 アウトリーチ型は 期的な支援が不

子育てしやすいまち昭島の

を新たに設け、家

てエコレシピ部門

与するものと理解 たまちづくりに寄

しており、都市開

答弁

地区の特性に合わせ

庭で実践できるよ

等も踏まえ、条例 発対策審議会条例

公明党昭島市議団 松原 亜希子 議員

実現にむけた取組みについて

引き続き関係機関と連携を 断し、柔軟に対応している。 ②個別の状況を総合的に判 況も踏まえ検討していく。 ことが可能か、事業者の状 できた上で、回数を増やす 要とする全ての産婦が利用 市内各学校において 検討していく。 組みを推進していく。 について、①食品ロス削減 質 問 部署とも連携を図り、 く。②保健師等が市内の高 ている。引き続き庁内関係 校で出前授業などを実施し じた取り組みを支援して きるよう、学校の実態に応 食品ロス削減の推進 取り るのか、 減につなげていく。②まず は飲食店等が必要としてい

スマートフォン等に対応し 業を簡略化できる編集ソフ ジは利便性が重要と考える。 化について、①ホームペー た更新を行う際、教員の作 トを導入する考えは。②児 小中学校のデジタル 保する考えは。②3年に一 活用して計画的に日陰を確 のメンテナンスを毎年に変 動に対して、テントなどを 更する考えは。 度行っている個別空調設備 策について、 ①野外での運

考える。見解は。 スマートフォンの学校への 持ち込みが必要と ①ソフトの

保護者と連絡を取るために

出は困難性があるが、木陰

を活用するなどのでき得る

答弁 ①広範囲の日陰の創

童・生徒の安全の観点から、

単に作成や更新が 更新に向けた検討 を行っており、簡 立憲民主党昭島市議団都民ファーストの会・

小中学校のデジタル化・ ーT化について

八田

一彦

議員

めていく。 できる等の視点を含めて進 いと判断した場合は、担任 いるが、学校がやむを得な 要ではなく原則禁止として ②教育活動に必 状況を見ながらメンテナン 的新しい機器であるが、使 スを行っていく。 用頻度が増えているため、 対応に努めていく。②比較

が預かる等、対応している。

質問 猛暑日には、公共施

設を早朝や夜間も利用でき

策の検討を要望していく。

長会等を通じて必要な支援

を整備する必要がある。ま 定し、都市計画マスタープ ラン等に適合させる仕組み まちづくり条例を制

義について、考えは。 ちづくり条例の必要性や意 し、工事業者等原因者に改 は、警察等関係機関と連携

善を求めていく。 助の対象となっている。

在、

民主主義に基づくまちづくりを ており、国へ廃止

日本共産党昭島市議団 大野 ふびと 議員

物価高騰の

制定について検討 している。

更なる食品ロス削 う効果的に周知し、

発事業について、住宅の建 質問 田中町三丁目宅地開 設工事で近隣住民対策・交

状況把握に努めて

キリッ!かっこいいでしょ (昭和記念公園)

要

に策定した個別施設計画を、 | 今後について、①令和3年 昭島市の公共施設の

ーとしての役割もあり、昼 答弁 クーリングシェルタ ど、開館時間を工夫しては。 るよう昼間を休館とするな 間の休館は困難性 え再検討していく 現在の社会経済状況を踏ま

質問 高齢者の移 がある。柔軟な対 法を研究していく 応等、効果的な手 応するため、公共 後の財源不足に対 後の予定は。②今 必要があるが、今 施設の削減は避け

答弁 都による広域的な制 制限を撤廃し、一律年額1 があるシルバーパスの所得 千円にする考えは。 度であるため、引き続き市 動手段として効果

> は誰か。 通安全対策に責任を負うの

答弁 問題が発生した場合 万円となり、全額が国庫

質問 国民健康保険被保険 独自に資格確認書の一律交 付を行う考えはない。③現

実務上被保険者証の発 行が不可能となっ

進める施策について問う 質 問 えはない。 の撤回を求める考

改修にかかった費用は。ま 等の交付のためのシステム 応について、①資格確認書 者証の有効期限切れ後の対 げなど負担軽減の取り組み っている。保険税の引き下 税の負担は大きなものとな について、考えは。 国民健康保険

書を一律交付しては。③国 無にかかわらず、資格確認 撤回を求める考えは のか。②マイナ保険証の有 た、国からの補填はあった に対して被保険者証廃止の 9年間保険税率を据え置い する中、平成28年度以降の 答弁 市独自の軽減を継続 市長会を通じて軽減内容の ている。引き続き国に対し 拡充等を要望していく。

進めることが必要と捉えて の縮減目標に向けた検討を の在り方を検討するととも 等総合管理計画を8年度中 当計画を包含した公共施設 に、2万5千平方メートル トテラスの整備に基づき、 に改定していく。 一部事務が集約された施設 ①7年度中に改定し、 ②イース を用意している自治体もあ 該当する場合は積極的に活 度まで延長される見通しで 状況の中、体験型の返礼品 ある。普通交付税の交付団 企業版ふるさと納税が9年 る。市でも検討しては。② 体となれば活用できるため、 税収が外部へ流出している て、①本来、 用していくべきと 市に入るべき

昭島市の公共施設の 今後について

自由民主党昭島市議団 三田 俊司 議員

る地域経済への波

寄附者の来訪によ

①体験型は

及効果なども期待

一くべきと考えるが、 市の負担軽減につなげてい が求められている。 のPPP/PFI等の活用 を解決するため、官民連携 公共施設の維持という課題 ては通れない。考えは。③ 見解は。 導入し 質問 検討を進めていく。 のっとり、民間活力の導入 な行財政運営の取り組みに 画に掲げる効果的・効率的 について様々な機会を捉え いる。③中期行財政運営計 ふるさと納税につい 事業展開を図っていく。 附額の確保に努めていく。 できる。 積極的な制度活用を通じ、 ②要件を満たした際には、 め、最大限努力しながら寄 体験型返礼品も含

たシステム改修の費用は ①令和6年度に行っ 4面下段より

答弁

2 護団の要請に応える内 見直すべき。 容に を送ることができる社会に 転換する契機であり、本陳

全ての人が人間らし 以上、裁判の全面解 決は 情を不採択とする委員長報 告に反対する。

反対

みらいネットワーク

様々な制度や支援策と連動 保障制度の土台であり、 さらに、生活保護は社会

されるべきではない。 準は政治的・恣意的に上下 るものであり、生活保護基 条で定める生存権を保 生活保護法は、憲法 障す 議員 している。法治国家として 陳情を不採択とする委員長 早急に行うべきと考え、本 り、国は謝罪と被害回復を 最高裁判決は重いものであ

件 لح 結 果

음

▽令和7年度昭島市国 > 令和7年度昭島市一般会計補正予算 (第3号) 民健康保険特別会計補正予算(第

1 号 令和7年度昭島市介護保険特別会計補正予算(第1号) 令和7年度昭島市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)

·令和7年度昭島市中 予算(第1号) 神土地区画整理事業特別会計補正

·令和7年度昭島市中 正予算(第1号) **神駅北側地域整備事業特別会計補**

。昭島市職員の勤務時 一部を改正する条例 休日、 休暇等に関する条例の

~昭島市一般職の職員 を改正する条例 の育児休業等に関する条例の一部

~昭島市デジタル技術 を活用した手続等の推進に関する

>昭島市障害者総合支援条例の一部を改正する条例

考える。所見は。

準を定める条例 昭島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基

新畑公園及び周辺道路 路整備工事請負契約

南文化公園整備工事 請負変更契約

訴えの提起について 市道路線の廃止につ いて (南45号)

分について ·令和6年度昭島市水 市道路線の廃止につ 迫事業会計未処分利益剰余金の処

いて (西22号)

6面下段へ続く